野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育　　令和５年７月１９日（通算号）197 号

山毛欅(ぶな)の子　野沢温泉学園だより第4号

～子どもたちがブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

今回はこども園の子ども達の様子についてお知らせします

こども園では現在は９６名の園児が在籍し、元気に園生活を送っています。新型コロナウイルスの扱いが５類になったことにより、園での行事も再開を進めているところです。
６月は年少児親子対象の歯科指導・試食会が行われました。試食会は４年ぶりの開催です。教室が狭いためコロナ禍以前ように親子一緒に食べることはできませんでしたが、こども園の給食の味付けなど実際食べてもらうことで感じていただき、保護者の方からも好評でした。９月には運動会があります。昨年までは内容を縮小して行っていましたが、学園のつながりを感じられるような内容を工夫していきたいと思います。

《学園授業研究会　６月２０日》

今年度ののざわこども園の研究テーマは「表現」です。表現といっても内容は深く、様々な捉えがありますが今回の授業研究会ではそれぞれの学年で「表現」をねらいにして活動を行いました。野沢温泉学園の５つのワーキングチームの中の「英語」についてもいつもは ALT のリアン先生に授業を進めていただいておりましたが、今回初めてクラス担任とリアン先生が一緒に進めていく活動を取り入れました。対象園児は２歳児ということで上手く進められるか心配しましたが子ども達は柔軟で緊張することもなく、スムーズに授業を進めることができました。これからもこのような経験を大切にして英語活動が進めていけたらと思います。

また年少児は春から計画的に進めてきた「こいのぼり」を題材とした表現活動を行いました。最近あまり村内で見られなくなったこいのぼりとの出会いを求めて散策し、発展させて製作活動を行いました。年少児は今年こども園において研究対象学年となっております。秋に行なわれる学園授業研究会も研究を積んで子ども達の様子を発信したいと思います。

１歳児は保育者手作りの魚を釣っている可愛い姿、年中児はピアノの音に合わせて動物を自由に表現する活動、年長児はダンボールハウスに絵の具で色を塗るダイナミックな活動を行いました。それぞれの学年で個性や特色を生かした活動を行うことができました。

《ふるさと学習について》

ふるさと学習も学園のワーキングチームの一つです。こども園ではどの学年も散歩活動を通して村内の様々な由緒ある場所等に行き散策を楽しんでいます。その中で年長児は昨年度に引き続き、「消火栓探し」をしています。昨年度は歩いて行ける場所をめぐり、今年は園バスに乗って上ノ平に行ってきました。山の中に消火栓がいくつもあることを知ることができました。

園内には「お散歩マップ」が貼ってあるのですが、お散歩コースの他に車の通りが激しい危険な場所を赤いシールで示してあり、昨年度からは消火栓がある場所もシールを貼ってみんなで確認しています。これからもお散歩マップを有効に使っていこうと思います。

こども園に在籍する園児は０歳から６歳までで成長や発達の差が大きな年齢層です。子ども達の年齢に合わせた保育内容や時には年齢を超えた交流ができるようコロナ禍には出来なかった活動をこれから進めていきます。

（文責：こども園　岸）